茅野市中央公民館講座　受講生募集

和の伝統文化講座（俳句編）

～ 小林一茶の生涯と句碑 ～

小林一茶は、**芭蕉・蕪村と並ぶ江戸時代の三大俳人**の一人です。**「やせ蛙　負けるな　一茶　これにあり」**など親しみやすい句や、**「露の世は　露の世ながら　さりながら」**のように人生の感慨を詠んだ句を多く残しました。

今回の講座では、一茶の故郷である北信を中心に、結びつきが深い下総（現在の千葉県北部辺り）の**句碑などを句の意味とともにご紹介**するとともに、**俳句を作って親しむワークショップ（体験会）**を行います。お子さんも親子連れの方もぜひお集まりください♪

1 日　時　令和７年３月８日（土）午前 10 時から正午

2 内　容　ロビー展を鑑賞しながらのギャラリートーク、
俳句を作って親しむワークショップ（体験会）

3 講　師　・（公財）八十二文化財団 小池 博子 様
・沖南信濃支部俳句会 矢崎 すみ子 様

4 会　場　中央公民館 １階 第１会議室・ロビー

5 定　員　20 名

6 受講料　無料

7 持ち物　筆記用具

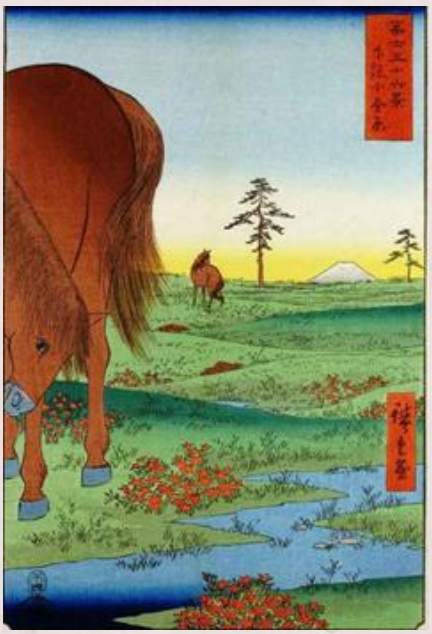
8 受講資格　市内在住、在勤、在学者
（小学生以上推奨・親子での参加も可）

9 申込先　茅野市中央公民館

10 申込方法　電話（0266-72-3266）または
インターネット（Logo フォーム）から申込

11 受付開始 ２月４日（火）午前 10 時から

12 その他　・参加者には「全国の一茶の句碑」という小冊子を配布いたします。
・お茶とお菓子が少し出ます。リラックスして、俳句を体験してみましょう♪



「母馬が　番して飲ます　清水かな」

中央公民館公式キャラクター
「ちの　まなぶ」君

◎小林一茶（こばやし　いっさ）って？
15歳で江戸へ奉公に出た一茶は、あるとき俳諧の道に入り、全国を俳諧行脚しました。50歳で故郷（現在の信濃町）へ帰住し、なんと2万以上（！）の句を残し、65 歳の生涯を終えました。

▲申込フォーム

当広告上のすべての文書および画像の複製・複写・無断転載等を固く禁じます。